



川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和6年8月29日
富田林市立川西小学校
TEL 24-3107
FAX 26-2306

★児童数配布

『よく聞き、見直し、成し遂げる』 校長 山下 文博

暑くて長かった（短かった？）夏休みが終わりました。気温が高く、外にいただけで汗が流れてくるような日が多かったですね。暑いのは気温だけでなく、パリオリンピックでの選手の皆さんの頑張りや、応援もかなり熱かったですね。メダルを獲得した選手だけでなく、すべての選手の皆さんの頑ごはり、は、たくさんの勇氣と希望を与えてくれました。私事ですが、高校の同級生（同じ部活仲間）の甥っ子（実際にお会いしたのは一度だけですが…笑）もメダルは逃してしまいましたが、今回初のオリンピック出場で、とても素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。

また、甲子園で酷暑の中、野球に打ち込んだ高校生の皆さんの本当に熱い思いで必死にプレーしている姿もまた、感動を与えてくれました。

しかしその一方で、その頑張っている姿を無視した心無い誹謗中傷の SNS 投稿なども散見され、マスコミなどでも取り上げられる場面も見受けられました。その度に何とも心苦しい気持ちになったのは私だけではないと思います。中にはほんの軽い気持ちで発信している人もいるでしょう。でも、それを受け取る側はどんなに辛い思いをしているか…。誰かをターゲットにし、敵視して攻撃する、それが今の世の中で起きている現実です。私たちの日常生活の中でも、似たような事象はないでしょうか、加害者になってはいないでしょうか…。

今年は、広島・長崎への原爆投下、終戦から 79 年。

『79 年前と同じように、生きてくても生きることができなかった人たち、明日を共に過ごすはずだった人を失った人たちが、この世界のどこかにいるのです。本当にこのままでよいのでしょうか。願うだけでは平和は訪れません。色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。

一人一人が相手の話をよく聞くこと。

「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。

仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。

私たちにもできる平和への一歩です。』

これは、今年 8 月 6 日、広島の前爆死没者慰霊式・平和祈念式で、こども代表の加藤晶さん、石丸優斗さんの「平和への誓い」の抜粋です。特に上記の下線のことを意識することで、加害になることも被害にあうこともなくなっていくのではないのでしょうか。



保護者の皆様、地域の皆様、本日より二学期が始まりました。この夏休み期間中に心も体も成長した元気な子どもたちが川西小学校に戻ってきました。教職員もしっかりと充電し、パワーアップしました。二学期はたくさんの行事があります。また学習内容も盛りだくさんです。引き続きのご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。